

【学級活動】での活用事例

(小学校中学年)

【活用した資料】

- 小学校版「心しなやかに」 p.16～p.17 第一章 「友だち」 関 洋子
- 小学校版「心しなやかに」 p.106～p.107 第三章 「⑧ 友達どうして力を合わせて」

【学習指導要領に示されている道德の内容】

- 2-（3）「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」

○ 子供たちの友達関係を見直すきっかけとして

一緒に遊んで楽しい時間を共有したり、苦しい時に共に励まし合ったりできる友達は、大切な存在です。「ふれあい月間」での学級活動で、友達との関係を見直すきっかけとして、『心しなやかに』p.16～p.17「友だち」を読みました。

この時期になると、相手のことはよく知っていますが、自分のことを分かってもらえているという意識はなかったり、つい嫌がることをしてしまったりします。「友だち」を読んで、感想を話し合う中で、「〇〇さんは、自分を一生けん命手伝ってくれた。」「たいしたことじゃないと思っていたのにほめられてびっくりした。とてもうれしかった。」といった友達の温かい気持ちに触れた体験が出されました。この「友だち」の活用をきっかけに、励まし合い、支え合っていける本当の友達になろうという気持ちが高まりました。

○ 大きな「思い出年表」を作って教室に掲示する。

行事を年表風に並べ、その中に、子供が活躍したことやうれしかったことなどをはっていき「思い出年表」をつくって、教室に掲示しました。お互いの活躍や努力、優しさや思いやりを認め合える温かい学級づくりにつなげることができました。